

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第4回朝霞市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議		
開 催 日 時	令和2年10月29日(木) 午前10時30分から午前11時50分		
開 催 場 所	朝霞市民会館ゆめばれす 会議室 201		
出 席 者	委員11名（高野委員長、遠藤委員、本田（麻）委員、渡邊委員、高橋委員、藪塚委員、佐々木委員、加藤委員、羽山委員、石藤委員、藤本委員） 事務局6名（三田部長、望月主幹、増田課長補佐、奥野係長、山崎主査、沼澤主任） コンサル会社1名（株式会社ぎょうせい 松澤氏）		
会 議 内 容	【議題】 （1）第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案 （2）計画策定にかかるヒアリング調査について		
会 議 資 料	○会議次第 ○【資料番号1】第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（事前配布） ○【資料番号2】第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（事前配布）修正版 ○【資料番号3】目次修正（案） ○【資料番号4】修正箇所一覧 ○【資料番号5】ヒアリングシート（案） ○【参考資料】ヒアリング調査について		
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録		
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録		
	<input type="checkbox"/> 要点記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）		
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員長による確認		
そ の 他 の 必 要 事 項	○会議公開 傍聴者 0名		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【山崎主査】

定刻前ではございますが、会議に先立ち、本日の会議資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、事前に送付させていただいております会議資料といたしまして、

- ・【資料番号1】 第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（事前配布）
- また、本日別途配付させていただきました会議資料といたしまして、
- ・会議次第
 - ・【資料番号2】 第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（事前配布）修正版
 - ・【資料番号3】 目次修正（案）
 - ・【資料番号4】 修正箇所一覧
 - ・【資料番号5】 ヒアリングシート（案）
 - ・【参考資料】 ヒアリング調査について

となっております。

本日、御持参いただいていない資料や不足等がございましたら、お手数ですが、挙手にてお知らせ願います。

○開 会

【山崎主査】

それでは定刻となりましたので、ただいまから、令和2年度第4回朝霞市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議を開催させていただきます。

委員の皆様におかれましては、御多忙の中、本会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の会議の司会を務めさせていただきます。長寿はつらつ課、地域包括ケア推進係の山崎と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、事前に鳥居委員、新保委員、増田委員、磯山委員から御都合により御欠席との連絡を受けております。

なお、本日の会議は、会議録作成のため、会議内容を録音させていただきます。

それでは、これからの会議の進行は、委員長にお願いしたいと存じます。委員長よろしくお願いいたします。

【高野委員長】

それでは、議長を務めさせていただきますが、議事進行にあたりましては、スムーズな進行ができますよう皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

まず、議題に入ります前に、本会議につきましては、「朝霞市情報公開条例第23条」及び「市政の情報提供及び審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、原則公開となります。

事務局に確認いたします。本日の傍聴希望者はおりますでしょうか。

【沼澤主任】

本日の傍聴希望者はおりません。

【高野委員長】

ただ今のところ傍聴希望者はいないとのことですので、議題に入りたいと思います。

議題の（1）第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案について、事務局から説明をお願いします。

○議題（１）第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案について

【奥野係長】

それでは、議題（１）第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案につきまして、御説明いたします。

事前に送付させていただきました「資料番号１ 第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案」及び本日お配りさせていただきました「資料番号２ 第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（修正版）」、「資料番号３ 目次修正（案）」、「資料番号４ 修正箇所一覧」を併せて御参照ください。

これまでの会議でも御説明させていただきましたが、改めて第８期計画の構成につきまして、概要を御説明させていただきます。

第８期計画におきましては、高齢者福祉及び介護保険の各種事業は、具体的にどのような目標に向かい、どのような施策及び個別事業を展開していくのかについて、より市民に分かりやすく提示していくことを目指すということ踏まえ、冒頭部分に策定の背景、基本理念、基本目標などを掲載し、その次に具体的な第８期計画の施策、中段以降に目標設定に至った経緯として、現状と課題などを掲載して、介護保険事業とその費用等を掲載する内容で素案を構成しております。

また、「資料番号２ 第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（修正版）」の目次と「資料番号３ 目次修正（案）」を、比較して御覧いただければと存じますが、メインとなります「第８期計画の施策」について、より分かりやすくするために、「第２章 第８期計画の施策」の中に、「第１章 計画の策定にあたって」の中の「第４節 施策目標」から「第６節 施策の体系」部分を移動すること、また、資料編の「資料３ 策定経緯」から「資料６ アンケート調査結果の概要」までを「資料１ 朝霞市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議条例」の前に移動するほか、文言の修正等を行う予定でございます。

それでは、第８期計画の素案の本文に戻りまして、御説明させていただきます。

事前に送付させていただきました「資料番号１ 第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案」と「資料番号２ 第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（修正版）」、「資料番号４ 修正箇所一覧」を併せて御覧ください。

なお、「資料番号２ 第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（修正版）」の中の網掛け部分が修正箇所となっておりますが、誤字や表現等の簡易な修正以外の修正箇所につきまして、「資料番号４ 修正箇所一覧」にまとめてございます。

はじめに、「資料番号２ 第８期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（修正版）」の９ページをお開きください。

こちらは、前回の会議で、施策体系一覧（案）として、お示しさせていただいた内容のうち、施策までを掲載したものでございます。

まず、左から２段目の基本目標でございますが、前回お示ししました案では、「地域共生社会を支える地域包括ケアの確立・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる」となっておりましたが、より分かりやすく表記するため、「地域包括ケア」の後に「システム」と、「暮らし続けられる」の後に「社会の実現」を加え、「地域共生社会を支える地域包括ケアシステムの確立・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現」という表現に変更しております。

また、施策目標及び施策の方向性につきましては、前回から構成数に変更はございませんが、文言につきまして精査をし、変更しております。

施策につきましては、前回３９の施策をお示ししましたが、内容を精査し、統合と表現の精査を行い、３３の施策にまとめました。

次に、１２ページから４５ページに個別事業を掲載しておりますが、最初に主な修正箇所につつま

して、御説明させていただきます。

「資料番号1 第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案」と「資料番号4 修正箇所一覧」を御覧ください。

なお、「資料番号4 修正箇所一覧」では、事前送付資料での主な修正箇所をまとめてございます。

最初に事前送付資料の素案の13ページの「⑤シルバーサロンの提供」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

次に、14ページの「⑥シニア活動支援センターとの連携の促進」におきまして、「⑥シニア活動センターの推進」へ事業名の変更と事業概要の表記を変更いたしました。

同じく14ページの「⑦就労的活動支援コーディネーター（就労的活動支援員）の配置【新規】」におきまして、「⑦高齢者の就労支援【新規】」へ事業名の変更と事業概要の表記を変更いたしました。

同じく14ページの「①市民企画講座への支援」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

同じく14ページの「③生涯学習ボランティアバンク事業の実施」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

次に、15ページの「①人間ドック・健康診査の実施」におきまして、「①人間ドックの実施」と「②健康診査の実施」に事業名を分け、事業概要の表記の変更と指標につきましても、それぞれに分けて掲載いたしました。

同じく15ページの「②かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師を持つことの意識啓発」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

次に、16ページの「②健康教育事業の実施」の次に、「③健康あさか普及員による健康づくり普及活動」を新規で追加いたしました。

次に、17ページの「③訪問型サービスBの構築・実施【見直し】」を分け、その次に、「④その他の生活支援サービスの検討」を追加いたしました。

次に、20ページの「⑦高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施【新規】」におきまして、事業概要の表記の変更と指標名を追加いたしました。

次に、21ページの「②見守り支援員事業の実施」におきまして、「②地域団体による新たな見守り活動の支援」へ事業名、事業概要の表記、指標名を変更いたしました。

次に、23ページの「①安心見守り連絡カード配付の実施【見直し】」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

同じく23ページの「②緊急通報システム事業の実施【見直し】」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

次に、25ページの「③オレンジカフェの開催」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

次に、27ページの「③職種別研修会の開催」におきまして、事業概要の表記を変更いたしました。

以上が、主な修正箇所になります。大変申し訳ございませんでした。

また、一つ一つの事業の詳細につきましては、数も多いため、ここでは説明は割愛させていただきますが、表記内容につきましては、「資料番号2 第8期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案（修正版）」の12ページの下段の表を例に補足説明させていただきます。

この表の左側で、目標値となっておりますが、平成30年度及び令和元年度は実績、令和2年度は見込みを掲載し、令和3年度から令和5年度が目標値を掲載する予定でございます。

また、表の右側に、令和7年度の目標値を追加する予定でございます。

そのほか、今回の修正箇所を踏まえ、改めて内容の修正等を行いますので、御了承いただければと存じます。

説明は以上となりますが、この素案の構成や「第8期計画の施策」の内容等につきまして、御意見等をいただければと存じます。よろしく願いいたします。

【高野委員長】

ありがとうございます。施策の構成、内容について意見、質問があればということで話を聞いていただきました。資料2を見ながら、基本的には資料、事前送付された素案の修正版をお目通しいただいていることを前提に、質問・意見あれば構成、具体的な内容を挙手の上で発言いただきたいと思います。

【渡邊委員】

現段階の朝霞市の高齢化率はどれくらいなのでしょう？

【望月主幹】

高齢化率につきまして、こちらの素案の資料の48ページを御覧いただきますと、令和2年度で19.4%ということで表記させていただくことになろうかと考えております。

【藪塚委員】

46ページになるのですが、人口ピラミッドの推移となっているところで、平成31年それから令和2年と比較しているのですが、将来推計の場合は、もう少しスパンが長い方がいいかと思えます。1年後の推計をしてもあまり意味がないのではないかと思います。

【山崎主査】

委員に御指摘いただいたとおり、推計については年数をもう少し重ねて、第7期の時点、それから第8期の時点及び2025年、2040年の推計値をこちらに掲載したいと考えておりますので、次回そういった修正後のものをお示しできたらと考えております。

【遠藤委員】

33ページの感染症と予防対策の充実の「③避難行動要支援者台帳の活用」ということで事業概要が書かれているのですが、先日、自治体のところで防災の話などさせてもらったときに、こういった台帳は町内会長もお預かりしていると思えます。ただ、執行部や役員の方はその内容を知らないの、何か災害があったときはこの台帳の支援をお願いしますよという話になるが、町内会に入っていないのに「なんで俺たちが助けないといけないのか」ということにもなります。せめて台帳に載っている方には町内会に加入してもらおうとかするべきではないか。加入の補助や地域づくり支援課との連携を広げていく必要がある。お願いするばかりだと、なかなか現場としては受け入れ難いところもあります。その点、いかがでしょうか。

【望月主幹】

委員に御指摘いただいた避難行動要支援者台帳の活用の件ですが、台帳に記載されている方々が実際に災害時にどのような避難行動を、あるいは避難に向けた支援をすることができるのか、という具体的なことにつきましては、多くの課題があると認識しています。

町内会、自治会あるいは民生委員、地域包括支援センター、そういったところでの支援が地域支援者の欄に記載されているところでもあります。具体的なところを考えますと、多くの課題がありますので、関係機関と具体的な支援ができるような台帳の在り方を見直していきたいと思いま

す。協議を進めていきたいというところで載せさせていただきました。

【遠藤委員】

「協議する」というような部分の文言を中に含めないのかなというように感じたのですが、その点はどうでしょうか。

【望月主幹】

関係各所との連携につきましてこちらに掲載することに関しては、持ち帰り検討していきたいと考えております。

【佐々木委員】

26ページの認知症の人に優しい地域づくりの3番、チームオレンジについて、朝霞市はどうお考えなのか、こういう仕組みづくりを考えているのか、その辺を知りたいと思います。

それからもう1点ですが、28ページの在宅医療の理解の促進のための市民講演会の開催について、同じ先生でマンネリ化しているような講演会ではないかなと思います。そこで、専門職や先生以外の医療関係者の方とか講演会を企画するとか、その辺の考えはないでしょうか。

【増田課長補佐】

まずチームオレンジについてですが、認知症に対する施策、様々な支援チームがありますが、同じようなメンバーが関わっていたりするのが現状でもあります。連携の部分でもさらに強めていく必要があると思うのですが、包括を強化しながら、第8期計画の中で整備していきたいと思っております。

【佐々木委員】

チームオレンジは、包括がやるとかそういうわけではないと思います。むしろ包括を超えた、研修を受けた方が集まって何かやるようなもので、ちょっと形態が違うのではないかと私は認識しています。その辺は包括を主体にという考えなのではないでしょうか。

【望月主幹】

チームオレンジにつきましては、キャラバンメイトあるいは認知症サポーターより、一步進んだところで、より認知症の御本人あるいは家族の方を支援していく、具体的な取り組みを進める方々というように位置付けられていると認識しています。認知症サポーターの方へのさらなる研修や仕組みづくりを市としても考えているところです。

【奥野係長】

在宅医療と介護の市民講演会ですが、こちらにつきましては、市民のニーズを捉えまして、より市民に分かりやすい講演会を実施するよう検討して参りたいと思っております。

【羽山委員】

地域共生社会、人と人とのつながりに関して非常に警戒しないといけない時代になってしまったということを認識した上での、地域包括あるいは地域共生というところにちゃんとスライドしているのか不安ではあります。

地域支えあいネット講座と36ページに書いてありますけども、新しい時代で人と人とのつな

がり、特に高齢者と社会と接点を持つことをもっと強調していけたらいいなと思います。緻密なヒアリング等をしていけたらとも思います。

【望月主幹】

地域共生社会、それを支える地域包括ケアシステムを確立する上で目指す姿といたしましては、今回の基本理念に掲げました「人と人とのつながり」というようには捉えているところがございまして。それに向けての具体的な事業の表記のところは、現在散りばめてはありますが、というようなところで、そこが上手く表に出てきていないため、なかなか見えづらくなっているところではあります。具体的な事業の在り方、事業の視点をどうやって盛り込んで位置付けていけるのかは、持ち帰り検討していきたいと思っております。

【佐々木委員】

栄町の地域交流室の拡張工事が既に始まっているようなのですが、急に工事が来て急に使えなくなると小耳に聞いております。今まで使っていた人たちに代替え施設、部屋の確保はできているのでしょうか。

【増田課長補佐】

栄町の地域交流室は、工事の資材を置くなどして利用しているため、工事期間中は使えなくなっております。その間の代替のスペースですが、関連する周辺の市の公共施設、公民館、市民会館等を含めて担当課が全て確認しましたが、代替の部屋の確保の方ができない状況というところがあります。

【佐々木委員】

長期間の工事と聞いていたのですが、来年3月まで地域交流室が使えないこととなっており、気になっています。

【増田課長補佐】

個人で使っているシルバーサロン等を代替で使えないか、継続的に検討していきたいと考えております。

【渡邊委員】

近所の方の話ですが、その方は90歳を過ぎていて1人暮らしをしていて、2軒隣の家の人に自分の家の鍵を預けて暮らしています。アパートやマンションの人となると誰も町内会に入りません。組織的に全く違うところの把握というのはこれから求められていくのではないかなと思います。

高齢者の見守りに医師、歯科医師、薬剤師が関われるような仕組みを構築した方がいいのではないかと考えております。それぞれの薬局でそれぞれの見守り体制ができていくのではないかなと思っております。

【望月主幹】

医療と介護の連携の推進事業の中でつながりができつつあります。次は見守り体制の構築、そういうところも重要な視点になってくるという御意見をいただいたかと思っております。この部分を計画書の中にどのように表現していけばいいのか、非常に大事な視点をいただきました。

医療と介護の連携の事業のところに盛り込みながら、見守り支援の21ページの②地域団体による新たな見守り活動の支援の概要は、住民主体の活動団体についてのみ書いてありますが、そうではなく、関係機関との連携などの表現を見直して参りたいと思います。

【本田（麻）委員】

9ページの第6節施策の体系があって、そのあとに施策の体系を行ったり来たりして見ている、ページ数はここに入りませんか。例えば、施策の方向性のところが何ページから何ページまでとなっていると凄く見やすいと思います。実際に市民の皆さんがこれについてどういうことが書いてあるのか見たいとなったときに、全部そこにはいかないといけないという状況になりますので、ページを入れることを検討してみてください。

それから中身についてですが、施策目標2の2番、認知症施策の強化推進は第7期と比べて変わっているなという感じがしますが、具体的にどうするのかは市民の方に分かりづらい感じもあります。例えば、24ページの中段以降、施策の（1）認知症対応の意識啓発は何をするのだろうと感ずるかもしれません。その文言を直していただき、もっと知りたいな、学びたいなとなるような文言を選んでいただけたらと思います。

あと、ケアガイドブックの促進とありますが、どういったかたちで促進していくのかが書かれておりません。事業の概要は書かれておりますが、もう少し具体的に書いた方が良いのではないのでしょうか。

それと、（2）認知症の早期相談・早期発見のところで、初期集中支援委員など難しい言葉が出てくるので、用語解説かここに詳しく書いていただけたらと思います。

あと、16ページの健康づくりの推進という施策の中で、（3）地域ぐるみの社会参加と健康づくりは、前回の柱建ての一覧から抜けて、他のところに混ざっているのでしょうか。中に入っている具体的な施策は、生きがい活動プロジェクトの推進1個だけなのではないのでしょうか。

【高野委員長】

ページ数はやりましょうということですね。そのあとの御意見についてお願いします。

【増田課長補佐】

24、25ページで御指摘いただいたところにつきましては、用語解説にするか本文中に盛り込むかは検討し、分かりやすい表現に修正いたします。

【山崎主査】

16ページの（3）地域ぐるみの社会参加と健康づくりの件につきましては、健康づくり課とこれに関する事業を調整させてもらった結果、まずはこのみんなで参加・生きがい活動プロジェクトを推進することとしましたので、2つ目が抜け落ちているところでございます。

【本田（麻）委員】

14ページの高齢者の就労支援について、働く場所が欲しい方と働かないと暮らしていけない方がいらっしゃると思いますが、働かないと暮らしていけない方は支援を手厚くした方がよいと思います。こういった考えがどこかに入った方がよいのではないのでしょうか。

31、32ページの虐待防止の推進で、防止体制は凄く大切だと思いますが、虐待が発見できる仕組みづくりや虐待が発見されたときの適切なサポート、解決を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

【山崎主査】

まず14ページの高齢者の就労支援について御説明させていただきます。こちらに事業概要として掲載しているものが、人材不足によって支援していきますと書いてありますが、長寿はつらつ課で、これを行う理由として、高齢者の方々が予防体操とかだけでなく、どのようなかたちでも地域とつながる、地域に出ていってもらえるような支援ができるということで位置付けさせていただきました。

なお、就業相談につきましては、市の産業振興課で行っております。表現等につきましては、再度検討させていただきます。

【望月主幹】

今の件に追加させていただきますと、働けない方が働かないといけないという場合については、福祉相談課・地域包括支援センターで総合的に把握しまして、必要な関係各所につなげていきたいと考えております。地域包括支援センターの総合相談の拡充というところに位置付くものと考えております。

【増田課長補佐】

虐待防止の関係について、御指摘のとおり防止体制の部分は触れているのですが、実際の対応の部分が触れていません。虐待の対応の項目を追加させていただきたいと思います。

【遠藤委員】

40ページの地域包括支援センターの体制整備③基幹型地域包括支援センターの設置ということで、もう基幹型にして圏域を増やすことはしないのでしょうか。

【奥野係長】

基幹型地域包括支援センターについてですが、いきなり基幹型の設置ではなく、順を追いまして、来年度は地域包括支援センターの人員体制を整備し、次の年度に圏域を増やし、その次の年度で基幹型地域包括支援センターを設置するという目標で計画をしていきます。39ページの日常生活圏域の見直しということで、お話しした人員体制の見直しの整備について掲載させていただいております。

【高野委員長】

まず、14ページの④終活に関する事業の検討・実施について、終活という言葉はまだコンセンサスが得られていないと思われるので使用について検討いただきたいです。

あと、17、18ページの訪問型・通所型のBについて、目標値が1件ですので、拡充を検討していただきたいです。

それから、30ページの介護者に対する支援の充実の記載内容の工夫が必要だと考えます。

あと、40ページの包括的総合相談の実施ですが、地域包括支援センターの機能強化について従来の枠組みで行うのでしょうか。それとも、重層的支援体制整備事業の枠組みで取り組む考えなのでしょうか。

41ページの①介護サービス基盤の整備ですが、数値目標が少ないと思いますので、拡充を検討していただきたいです。また、朝霞市の状況から考えても、既に2040年に向けて推計値が出ていますが、要介護認定者が増えることが見込まれますので、やはり介護サービス基盤について貧弱すぎると思います。来年の法改正によるサ高住等の整備目標設定や、入居者のケアプラン

作成に市町村が関与していくことなどについて、方向性がどうなっているのでしょうか。

【望月主幹】

地域包括支援センターの機能強化の包括的総合相談の実施についてですが、地域福祉計画で重層的な支援体制の構築に触れているものの、新たな制度の枠組みまで第8期で到達することは難しいと思われるため、具体的な記載はできておりません。地域支援計画の中では連携して体制を整えていけるようにしていきたいと思います。

介護基盤整備について具体的に取り組む必要はありますが、介護事業全体のバランスを考えながら検討していきたいと考えております。サ高住等の計画については、十分に計画に反映できていない部分ではありますが、再度検討していきたいです。

【渡邊委員】

高齢化率から考えると6万人ほどの高齢者がいることになりましたが、そのうち生活保護で生活している方はどれくらいの割合なのでしょう。

【望月主幹】

高齢者の人口ですが、65歳以上の高齢者人口は現在27,500人前後となっています。全体の人口は141,800人ぐらいで、65歳以上の人口が令和2年1月1日現在では27,445人となっております。

【三田部長】

生活保護受給については私の方から答えさせていただきます。生活保護受給の構成で申しますと高齢者世帯が1番多く、年々増えている状況です。朝霞市は保護受給率1.6%程度で推移していますが、4割から5割は高齢者世帯であり、一人暮らし高齢者世帯も多い状況です。

【高野委員長】

まだ御意見等あるかと思いますが、議題（1）については、以上といたします。

続きまして、議題の（2）計画策定に係るヒアリング調査について、事務局より説明をお願いします。

○議題（2）計画策定に係るヒアリング調査について

【沼澤主任】

私からは、議題（2）計画策定に係るヒアリング調査について、御説明させていただきます。お手元に、「【資料番号5】ヒアリングシート（案）」と「【参考資料】ヒアリング調査について」を御用意ください。

このヒアリング調査は、第8期計画策定における素案を踏まえ、現状の把握や現場の声を生かしていきたいと考えております。

対象者と実施時期につきましては、前回の会議でも御説明させていただきましたとおり、市内活動団体や当事者団体等に対して、11月から随時実施する予定です。

ヒアリングの際には、ヒアリングの柱に基づいて作成した【資料番号5】ヒアリングシート（案）を用いて実施する予定です。

ヒアリングシートには活動に参加する個人と団体それぞれの立場で御意見をいただけるようにいたしました。参加のきっかけや情報収集が新たな参加者につなげる要素となるので質問の2番目に入

れさせていただきます。

また、活動のプラスの面と不安や課題等についても御意見をいただけるような質問構成といたしました。

説明は以上となりますが、このヒアリングシートの内容等につきまして、御意見をいただければと存じます。

【佐々木委員】

朝霞いきいきネットワークの加入団体向けに、ZOOM開催の形でヒアリング調査はできないでしょうか。

【山崎主査】

ZOOMが使える端末も用意し、準備しているため、今後検討していきたいです。

【本田（麻）委員】

団体内部で意見集約を事前をお願いしてのヒアリングは可能でしょうか。今後ワークショップ形式のヒアリングもあっていいのではないのでしょうか。

【山崎主査】

ヒアリング実施対象者によって実施方法は異なります。ワークショップ形式については、コロナ禍で活動を再開できていない団体もあり、状況を見ながら今後検討していきたいと思います。

【望月主幹】

今回のヒアリングシートは住民の活動団体向けのものであり、医療・介護関係職種へのヒアリングシートについては表現等を変更する予定です。

【羽山委員】

介護や福祉分野への意識に関し、高校3年生等に向けたアンケート、ヒアリングを行えないでしょうか。

【望月主幹】

計画素案全体に若い方の意見をこれから反映させることは難しいと思われませんが、12月の市民懇談会等でも意見を聞くようにしたいです。認知症サポーター養成講座等でも若い方の意見を聞くようにしたいです。

【高野委員長】

御意見ということでいただきました。その他、御意見等ございますでしょうか。

では、他に質問等がないようですので、2番目の議題もここまでにさせていただきたいと思います。

以上で、本日の議長の任を解かせていただきます。スムーズな進行に御協力いただきありがとうございました。

○閉 会

【山崎主査】

高野委員長、ありがとうございました。

それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。本日は長時間にわたりありがとうございました。

会議録署名人
